

令和3年第13回議会運営委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年5月17日（月曜日）			開会	9:55	会議場所		別海町議会 委員会室1	
				閉会	11:35				
委員の出欠	7 番	木嶋 悦寛	欠席	8 番	松壽 孝雄	出席	9 番	今西 和雄	出席
	10 番	小林 敏之	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
委員外の出席	議長		西原 浩					合計	1名
事務局職員	事務局長		小島 実	事務局主幹		入田 浩明	合計		2名
会議に付した事件及び会議結果など									
発言者			会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。						
委員長	10番	小林	9:55 開会・挨拶						
			開催概要説明 会期1日、出席委員4名、委員外 議長、欠席委員1名（木嶋委員Zoomにより参加）						
委員長	10番	小林	議事1 新型コロナウイルス感染症について						
事務局長		小島	資料(1)-2、(1)-3により、管内の発生状況及び緊急事態宣言に関する説明 先週からの町コロナ対策連絡会議の動きを説明 5月10日(月) 教育委員会が管内で協議し、施設の閉鎖することになった。 夕方に団体等へ閉鎖について通知したが、その後、閉鎖を取りやめた。 5月11日(火) 町対策連絡会議開催 学校開放及び部活動は停止し、施設の閉鎖はしないこととなった。 5月13日(木) 町対策本部会議 町長が幹部職員と意見交換し、施設の閉鎖を決定。 5月14日(金) 施設閉鎖について、住民へ周知。（道新）						
委員長	10番	小林	町の中で何か対策は考えているのか。						
			情報共有できているのか。 他町の対策より遅くないか。						
事務局長		小島	中標津町等と比べると遅い。 中標津町の施設を閉鎖すると、別海町に流れてくる恐れがあるので、早急な対応が必要だったが、閉鎖を決定するまで時間を要した。						
委員	8番	松壽	根室市は週の初めに週1回会議をやっている。 別海町は普段から会議はやっていないのか。						
事務局長		小島	別海町はやっていない。						
議長		西原	組織として機能していない感じを受ける。						
副委員長	9番	今西	議会としてどう動くか、今日の委員会である程度話し合いたいと思う。 提言は別として、議会がコロナ対策について意見を言うべきではないか。						
議長		西原	フェーズが変わった時の対応が確立されていない。 対応を整備すべきではないかと思う。						
委員長	10番	小林	コロナに対する体制整備が整っていない。						
議長		西原	病院は対応マニュアルを作っているはず。 町全体のも必要だと思う。						
委員長	10番	小林	街はいろいろなうわさがすごい。 情報を統制する体制も必要。						
議長		西原	正しい情報があればいいが、あやふやな情報で判断するのはやめなければならない。						
委員長	10番	小林	うわさされている人達は、相当苦慮しているはず。						

令和3年第13回議会運営委員会 要点記録

	とりあえず、福祉部と協議した内容報告を聞いて、再度協議しましょう。
副委員長 9番 今西	資料(1)-1により、福祉部と協議した内容に関する説明
委員 8番 松壽	キャンセル対応について、キャンセル分をワクチン接種に対応する職員へ打った方がよいのではないかと。
	個人的には、三役（町長、副町長、教育長）は町の責任者ということもあり、優先して打つべきと思っている。
	キャンセル対応について、個人的には、同じ考えである。
副委員長 9番 今西	町長や副町長と話した時に、対応する職員は公務員として町民のために対応するという趣旨の説明をされる。
	たしかに、理事者や職員に優先接種すると行政側からは言えないと思う。
	議会側から提案するのが、ひとつの流れではないか。
事務局長 小島	会議の中で職員が応援に行くという話があった時に、職員の接種について確認したが、検討するという回答だった。
	それ以降は回答なしだが、不安になる職員はいると思う。
	また、通所施設職員及び障がい者施設の入所者・職員についての優先接種については考えていないとのこと。
副委員長 9番 今西	どこかの時点では、職員の接種も考えなければと思っているが、説明のあった対応しか考えていないんだと思う。
	本部会議の組織の在り方もそうだが、どこが指揮系統なのか統括しているのか不明。
議長 西原	ワクチン接種の体制整備も考えないと、臨機応変な対応ができないのではないかと。
	国では7月中旬に高齢者接種を終わらせると言っているが、別海町はどうなのか。
	町はどう捉えているのか考え方を聞いてみたい。
副委員長 9番 今西	先日の話ではワクチンを入手できればという話だった。
	いつ全員分を入手できるか不明だが、とりあえず今回は1,500人分ということなので、それに対応するということであつた。
	いつワクチンが入手できるかわからないので計画も立てにくいと思う。
議長 西原	ワクチンの入手時期が不明で計画を立てられないというのはわかるが、入手したらすぐ打てるという体制づくりも必要。
	対応職員も優先順位をあげるという計画を立てておけば、入手した時に対応できる。
	入手時期はわからなくても、全数がくるのは間違いないので、事前に計画をたて、速やかに対応できる体制を整えることが必要。
	そのためにも対策会議の開催方法だったり、接種体制の組織の体制に対して課題があるので見直すべきと議会から提言するのもいいのではないかと。
委員長 10番 小林	危機感が薄いという印象がある。
副委員長 9番 今西	国の指針に沿って実施していると思うが、指針に沿い過ぎている部分がある。
	町の裁量でできる部分についての議論がなされていない印象をうける。
	議会としては行政の体制を確認しながらやっていかなければならない。
委員長 8番 松壽	今西議員と同じ考えで、早急に正副議長で町に申し入れするべきだと思う。
議長 西原	申し入れるのは問題ないが、議運等でしっかり協議しなければならない。
委員 15番 戸田	福祉部との協議の説明の中で何点か疑問があるが、デイサービスの職員は含まれない、もうひとつは応援職員も含まれないが準医療従事者という判断ができないのか。
	きちんと対応するべく態度を明確にするのが行政としての役目。
副委員長 9番 今西	今はいろいろな議論をしているようだが、議会に対して対策本部の考え方等を示されたことは今まであるか。
	ない。
議長 西原	対策本部自体もあまり開催されていないようである。

令和3年第13回議会運営委員会 要点記録

副委員長	9番	今西	公共施設の閉鎖等の通知等についても、正式に町として議会へ通知するべきだったのではないかと。別海病院の患者受け入れの時のように、事後でもいいから町からの正式な通知が必要だと思う。誰が感染したとかいう話ではなく、行政と議会で情報共有しながら体制をどのように整えて対峙していくのが重要。
委員	15番	戸田	中標津町は非常に厳しい考え方を持っていて、早めに対応もしている印象を受ける。他町を参考に早めの対応を心掛ける。国は曖昧な態度なんだからといって、町も同じような態度ではだめ。議会と町と一体となって取り組むのが大事。
委員長	10番	小林	木嶋委員何かあるか。
委員	7番	木嶋	一般質問及び委員会の答弁では病院が作成した対応マニュアルにフェーズごとの対応を決める話になっていたはず。通所施設職員や障がい者施設の入所者・職員が含まれていないのは重要な問題。ワクチン接種の応援職員は感染リスクが高いと同時に感染させる側にもなる可能性がある。ワクチン接種計画については、混沌なく進めている自治体もあるので、そういう事例を参考にしていくことも重要。結果として、様々な線引きについてはワクチン供給量の問題。議運に対策本部長を呼んで、考え方を確認するのもあり。
			暫時休憩 11:00
自由討議			コロナ対策等に対する自由討議
			再開 11:13
委員長	10番	小林	町に対する意見の申し入れについて、全員協議会にはかけずにタブレットで全議員に周知するか、全員協議会にかけるとどちらがいいですか。
議長		西原	こういう時期も考慮し、タブレットで周知するのがよいのではないかと。
委員	8番	松壽	緊急事態宣言下でもあるし、他議員も理解してくれると思う。あと、福祉部との協議結果についても全議員に情報提供したらいいのでは。
副委員長	9番	今西	いいと思う。
委員長	10番	小林	では、協議結果と正副議長で申し入れするということ、タブレットで全議員に周知するという事で。申し入れについては、昼からでも町長の都合がよければお願いします。調整します。
事務局長		小島	議事2 その他
委員長	10番	小林	何かあるか。
委員	8番	松壽	26日に産業建設常任委員会を開催する予定だが問題ないか。
委員長	10番	小林	人数も多くないし、いつも通りソーシャルディスタンスを保ちながら開催すれば問題ないと思う。
議長		西原	休業補償等の関係もあるし、開催した方がよいのではないかと。
			飲食、宿泊関係の調査もある。
委員	8番	松壽	わかりました。
委員長	10番	小林	他に。
委員	7番	木嶋	総務文教常任委員会も27日に開催予定。
			コロナ対策の町としての対応全般について調査予定。
委員長	10番	小林	閉会挨拶
委員長	10番	小林	11:35 閉会